

令和6年度 第2回自治会・行政連絡会議 会議録

会 議 の 名 称		令和6年度第2回自治会・行政連絡会議
開 催 日 時		令和6年11月15日(金)19:00～20:45
開 催 場 所		町民総合会館ゆるびの舎 2階研修室
出席者	自治会・町内会	出席:22自治会
	行政	町長、副町長、教育長、企画課長、健康福祉課長、生涯学習課長
	事務局	企画課
	関係機関	社会福祉協議会
会 議 次 第		1. 開 会 2. 町長あいさつ 3. 連絡事項 【企画課】 (1)AI デマンド交通の実証運行について【資料No.1】 【健康福祉課】 (2)令和6年度早島町敬老記念品事業について【資料No.2】 【早島町社会福祉協議会】 (3)福祉活動員候補者の推薦について【資料No.3】 (4)地域歳末たすけあい運動へのご協力について【資料No.4】 (5)早島町地域福祉センター指定避難所開設訓練のご報告について【資料No.5】 (6)地域集会所設置費補助金について 5. 閉 会
会 議 資 料		・次第 ・出席者名簿 ・【資料No.1】AI デマンド交通の実証運行のお知らせ ・mobi チラシ ・mobi ガイドマップ 【資料No.2】 令和6年度早島町敬老記念品事業について 【資料No.3】 福祉活動員候補者の推薦について 【資料No.4】 地域歳末たすけあい運動へのご協力について 【資料 No.5】 早島町地域福祉センター指定避難所開設訓練報告書

会議録作成者	企画課 令和6年11月25日作成
--------	------------------

会議内容（要点）

1. 開会

2. 町長あいさつ

本日は平日の夜のお忙しい中、多くの皆様にご出席いただき、お礼申し上げます。また、日頃から地域コミュニティの推進について、ご協力いただき、厚くお礼申し上げます。

さて、7月には大手ハウスメーカーによる街の住み心地ランキング2024が発表され、岡山県版で4年連続No.1に選ばれた。この結果はこれまでの先人の政策によるもので、取り組みや政策を継続するとともに、さらに若い世代に魅力のあるまちづくりを行い、選ばれる町にしていきたい。

本町においては、早島駅のバリアフリー化を含めた拠点整備に取り掛かっているところである。現地をご覧になった人もいらっしゃると思うが、すでに駅舎の整備に着手しており、来年度に完成予定となっている。また、早島駅、役場周辺の市街化区域編入の取り組みを進め、新たな定住促進を図りたいと考えている。

本日は、AI デマンド交通や敬老記念品などの説明を予定しているので、皆様から様々なご意見をいただきたいと考えているので、よろしくお願いしたい。

3. 連絡事項

(1) AI デマンド交通の実証運行について【資料No.1】

資料に沿って説明。以下補足。

利用方法等の説明会も自治会単位で開催しているので、希望があれば企画課までお知らせいただきたい。また、アプリの入れ方など、ご不明な点があれば、個別に対応させていただく。

Q.電話での予約は9時からで、アプリからの予約は7時からということだが、前日からの予約はできるのか。

A.いずれの方法も前日予約はできない。

Q.7時から運行で、受付も7時からであれば、どうしても最低30分ほどずれが生じると思うがどうすればよいのか。

A. おそらく最初はそんなに予約している人がいないため、すぐに迎えに行けると思うので、30分も待つことはないと思う。

Q.人によっては7時から乗りたい人もいると思うが、その場合はどうすればよいのか。

A.今のシステムだと、申し訳ないが7時から乗れない。

Q.資料には電話受付が9時から19時となっている。予約受付は17時までだが、19時というのは何なのか。

A.コールセンターの総合案内が19時までで、早島町の運行時間が17時までという意味である。

Q.時間が色々あって分かりづらい。先ほどの話に戻るが、前日予約ができないのであれば、例えば9時に病院を予約していて、当日7時にタクシーを呼んで本当に間に合うのか不安な人もいると思う。そのあたりがどうか、利用した人の意見も聞いてみたい。また、AI デマンド交通について、全国でも導入されていると言っていたが、現在のコミュニティバスを無くす、削減するという考えなのか、実証実験をする目的を教えてください。

A.今回の AI デマンド交通はコミュニティバスとは全く違った予約制の乗り物になる。それを試しに取り入れてみて、町民の方がどういう利用方法をするのか、利便性が向上するのを見てからの判断になるので、バスがどうなるのかは現時点で言うことができない。

Q.皆さんの意見次第ではバスが無くなる、便数が少なくなるかもしれないということか。

A.もし皆さんが AI デマンド交通の方が使いやすいということになれば、その可能性もある。

Q.料金がかかるから、無料のコミュニティバスとそこの違いが大きいのではないか。

A.コミュニティバスの場合は決まったバス停に停まるので、例えば道が細いところまで入ってきてほしいと言われても難しい。また、定時定路線なので、道路が混んでいてもその路線を外すわけにはいかない。そういった点でバスのメリットと乗合タクシーのメリットで違いがある。しかし、おっしゃる通り無料と有料の差はどうしてもでてる。その中で有料でも利便性が高いので乗合タクシーの方が良いと言ってくれるかどうかだと思う。

Q.これを導入した意味、一番大きな目的をはっきりと教えてほしい

A.早島町が現在提供している住民の移動手段として、コミュニティバスがあり、また、タクシーチケットの配布もしている。そして、現在は若宮だけにはなるが、乗合タクシーも運行している。3種類ある中で、それぞれ一長一短の交通手段になっている。そこにもうひとつ選択肢として、こういうものがあるということを皆さんに知っていただく機会を作った。その中で今後、皆さんがどういうものかいいよね、というように選んでいただけるかをこちら側が知る機会を作りたいというのが目的である。

Q. 今までやってきた中で利用者の方の意見等は聞いているか。

A.まだアンケート自体はこちらに返ってきていないので把握していない。

Q.自治会への説明会での意見も無いのか。

A.すでにいくつかの自治会を回っており、色々と意見を頂いた。例えば料金が高いと言われる人もいた。また、ジャンボタクシーで色々な人と一緒に乗るのはどうなのかという意見もあった。ただ、地図を見ていただいたら分かるが、乗降場所がたくさんあり、159か所設定している。バスよりも狭い道でも行けるという点もあるので、バス停までは行けないから多少お金を払ってでも、乗合タクシーの方が便利で良いと言ってくださった方もいる。また、バスはフリー降車の区間もあるが、基本はバス停で降りてそこから自宅まで荷物を持って歩くことになるので、乗合タクシーの乗降場所の方が自宅から近いから良いというご意見もあった。説明会に参加されて、その場でアプリを入れて帰られる人も多くいらっしゃった。

Q.2点お聞きする。1点目は例えば茶屋町や中庄駅、倉敷駅へ行きたいなどそういう連結のことも考えて159か所設定したのか。これを利用して、買い物は中庄の方、大きい病院は倉敷中央病院に行きたい人もいるかもしれない。このあたりは今後どのように展開する予定なのか。2点目は最近PayPayなどキャッシュレス決済が多いと思うが、そういったものは利用可能か。

A.1点目の町外への移動については、結論から言うと少し難しいと考えている。まず、法律の話になるが、道路運送法という許可をもらって、こういうふうには運行はできるようになっているが、行政の境をまたいで他の市町村に行く場合は、その市町村の地域公共交通会議で採択を得ないといけない。地域公共交通会議では、その地域のタクシー事業者さんやバス事業者さんなどが参加して議論することになるが、やはりそういった料金が安い交通が行くようになると、タクシーやバス事業者の稼ぎを取ってしまうようになるので、そこがご理解いただけないというところで、以前に倉敷市とも協議をしたことがあったが、やはりそういった理由で、倉敷市への行政の境をまたいでの移動は中々難しいという回答を得ている。2点目については、基本的にアプリ上でのクレジットカード決済か現地での現金払いとなっている。PayPay等のキャッシュレス決済は今のところ対応していない。

Q.倉敷市など他の自治体と今後協議することはもうないのか。

A.AI デマンド交通を本運行する場合は、倉敷市への移動などニーズがあると思うので、その際は倉敷市と協議を行おうと考えている。ただ、その協議をもって必ず行けるかどうかは分からない。

Q.タクシーが役場玄関の東側に停車しているのを見たが、枠の外だった。停めるなら規定の場所に停めてもらわないと困るのではないか。

A.その件については、すでに運転手に伝えて、対応している。

Q.国交省の補助金を活用して実施する社会実験とあるが、この事業における町の費用感はどれくらいか。

A.町が出す費用はゼロである。資料に「Community Mobility 株式会社様のご協力により」と書いているが、国交省の補助金と事業者さんがお金を出してくださったことで、今回の実証運行が実現した。

(2) 令和6年度早島町敬老記念品事業について【資料No.2】

資料に沿って説明。以下補足。

アンケート結果の年齢 90 歳以上が77.9%となっているが、8%に訂正させていただく。

Q.昨年度の参加率は13%と書いているが、例年はどれくらいか。また、なぜ昨年度の参加者が少なかったと思うか。昨年聞いた話では、自治会など地域に対して声掛けが無く、個人に案内が行っていたので、地域で集まって行って楽しむことができないし、車で送迎してくれる人もいない。そういう理由で行きにくいという話があったと思う。その反省は生かされたのか。

A.これまでは自治会の方々にご尽力いただき、送迎等をしていただいたことで、500名程の方が来られていた。その反面、送迎で、自治会の方に大変ご尽力いただいて大変だという声も聞いている。そのような状況で、今回は記念品を贈ろうということになった。

Q.レターパックで送ったということだが、住所はあるが、そこに住んでいない、施設に入っていない等で返ってくることもあったのではないか。また、レターパックの送料はどれくらいか。

A.まず、施設等に入っており、返ってきたものについては、可能な限り調べて、おおむね皆さんに渡すことができた。レターパックの送料は1件370円だった。

Q.アンケートにもあるが、楽しくなかったというのは何のためにしているのか。昨日、介護予防フォーラムに行ってきたが、やはり地域の交流は介護予防のためにも大事だという話があった。これではその趣旨に反している。福祉や介護予防に全然つながっていない。新聞等で町単位ではなく、もっと小さな地域で敬老会をしたというのを見たことがあるが、そういうものでも良いのではないか。今、各地区でサロンなどをやっているが、そこで敬老会の催しをやれば、町から補助金を出して応援する。その方が地域の交流になるのではないか。アンケートにもあったように、安否確認も兼ねて、町内会や町職員で配ってほしいなども達成できるのではないか。本来の目的は何なのか、そのためにはどうすればよいかをよく考えてほしい。

A.そのあたりも来年度に向けてしっかりと考えていく。先ほど言われたように、地域の活動としてやるのも一つの手だと、検討の中で話も出ているので、そこも踏まえて、何をやるか決めていきたい。

Q.去年のこの会議で、町のために尽くした高齢者に対する敬意が足りない、という意見を出された方がいたが、今もその言葉が頭に残っている。そして、1年経って、こうやってレターパックで物が送られてきたというのは、もう先ほどの意見の通りではないかと私も感じているところである。本来の目的と言われたが、送り迎えは大変かもしれないが、送り迎えをやって初めてこの地域にどういのお年寄りがいるかわかったという声もあった。中々顔を合わせて話をするような機会さえも今失われているので、負担軽減といって何から何まで顔を合わせない方向に持っていくというのは私は全く逆の方向に走っているとは思えない。これと同じようなこと、つまりお年寄りにプレゼントを贈るといふ活動を、自治会でも同じ時期にやったが、確実に担当の福祉活動員が1軒1軒を回って顔を見て、渡していった。そこに意義があると思ったからである。本来の目的は何なのか、どういう方向に持っていくのが今、地域のためになるのか、お年寄りのために本当に意味があるのかということをもう一度問うていただきたい。

A.お2人が言われたことを十分に考えて、来年に向けてやらなければならないと考えている。

Q.アンケートの中で、敬老の日以前にアンケートをしてほしかったとあるが、まさにその通りだと思う。アンケートをとって、また1年先に何をやるのかをどうやって決めるのか。単にアンケートをとっただけというふうに思えない。また、自治会内でアンケートを出してくれたかを聞いたが、「出してない。役場の職員が集計の手間がかかるし、送料もかかるから。」と言う人もいた。記念品とアンケートの送料を計算すると、合計で約290万円ほどかかっているのではないか。今までいくらかかっていたかは分からないが、郵送ではなく、うまく回ってい

けば送料を削減できる。そこをもっと考えていただきたい。今まで早島町を支えてくれた方々が喜ばれることを考えていただきたい。

A. アンケートを後で送ったことについては、今回の結果を見て来年に向けてしっかり考えて、結果を反映できるように努力していきたい。また、本来の目的というのもう一度考え直したい。

Q. 今まで催しにいくらくらい使っていたのか。

A. 毎年の講演料、イベント料として、200万を超える支払いがあった。

Q. 同じくらいの費用を使うなら、皆が喜ぶことをやってほしいというのが私の気持ちである。

Q. 早島町では、自治会長を長年されている人よりも1年交代の人の方が多いので、アンケートでそういう活動が負担だという声もある。ただ、1年に1回のことなので、そこは苦労を惜しまず記念品を配る、また行政も連絡会議等でしっかり協力を求めるべきではないか。今、早島町は新しい人がどんどん入ってきていて、活動の内容が分からないような状況になっているから、行政も間に入って、お願いをした方がよい。

A. 皆さんから色々ご意見を頂いたが、今回、記念品を贈るという結論になったことについては猛省している。当初、催し物ということで出席率の話もあったが、すべての方にとということもあれば、25%、30%の来られた方に恩恵をとということもある。また、コミュニティや安否確認というところで、お年寄りや寂しい方もいらっしゃる中で、実際に会って少しでもお話すること自体を楽しみにされている方もいらっしゃると思う。そういう中で1番何が良いのか色々ご提案を頂いているが、もしよければ来年の第1回の会議の場で、複数案をお示しさせていただきたい。何が良いのかおそらく正解というものはない。正解がない中で、皆さんにご苦労をお掛けする場面もあるかもしれないが、ご理解を頂きながら何が1番良いのかを皆さんと決定していきたい。その際はご協力をお願いしたい。

Q. コロナ前は自治会に高齢者の住所、氏名、年齢が書かれたものを渡して、その人が参加するかどうかを自治会が確認するやり方だったと思う。しかし、去年は個人に案内が行って、参加の有無を確認していたので、自治会はノータッチだった。それだと地域の交流ができないから何とかならないか相談したが、個人情報の関係で、該当者をお伝えすることはできないと言われたが本当か。もしそうならばどうすればよいのか。

A. 今まさに検討しているところだが、災害対策基本法というものがあり、その中で有事の時に、どの人が避難を求める必要があるかをまとめた要支援者名簿を自治体の責務として取りまとめて、関係の団体に配ることになっている。しかし、先ほどお話があったが、個人情報の関係でどうしても制限がかかってしまう。同意がない方については、民生委員など守秘義務がある方にも名簿をお出しできないことになっている。ただし、それだと出せない人はずっと出せないことになるので、災害対策基本法上は、地域の実情に応じて条例を定めて、それが同意がなくてもできるのであれば、この限りではないとされている。そこに着目し、岡山県内ではおそらくまだどこもやっていないと思うが、条例制定を進めようと考えている。災害があった時は同意の有無なく、すべての情報を出せるが、平時の場合もコミュニティの観点から名簿が必要になってくると思う。逆に私は不要だと言われない限りは、条例で自治会も含めて名簿をお出しできる仕組みを作ろうと思っている。そうすれば、いわゆる弱者と言われる方がどこにお住まいで、その方はどういう形で要支援の必要があるのか、例えば障がいをお持ちの方、あるいは乳幼児がいらっしゃる方などがいると思うが、それも紐付けた上で、お出しさせていただこうと思う。ただ、先ほど申し上げた個人情報の話があるので、出すからには申し訳ないが、協定を結ばせていただいて、その方には当然守秘義務もかけさせていただいて、紛失防止、情報漏洩がないようにしたいので、そこについてはご理解いただきながら、来年の4月を目標に条例を制定したいと思う。

Q. 敬老会の件についてはそれで良いと思うが、民生委員をしていた時に名簿を見ると、名前が書かれているが元気だったり、逆に名前が書かれていないが、ほとんど外で見たことがなかったりというのがある。そういう人たちは名簿の趣旨を理解していないのではないのか。そういう人には、民生委員や役場から積極的に声をかけて、名簿を整備していかなければならない。

A. おっしゃる通りである。また、配布先については自治会や社協、消防、警察などを想定しているが、自治会ごとで何部必要か、どういう理由で必要かを届け出として出していただこうと思う。そして、老人ホームに入って

いて自宅にいないという方もいて、そういうデータも100%把握しているわけではないが、町長部局が保有している個人情報の1つとして対象にしていきたい。本人が言わなくても周囲からこの人は支援が必要だと思われる情報があれば、そこも拾い上げる仕組みも作りたい。そういう形でスタートさせて、色々な課題が出てくると思うが、ご意見を頂きながら、その都度見直していきたい。

(3) 福祉活動員候補者の推薦について【資料No.3】

資料に沿って説明。

(4) 地域歳末たすけあい運動へのご協力について【資料No.4】

資料に沿って説明。

(5) 早島町地域福祉センター指定避難所開設訓練のご報告について【資料No.5】

資料に沿って説明。

(6) 地域集会所設置費補助金について

今年度残りの期間で申請予定がある場合は、予算確保の都合上、事前に教えていただきたい。

【その他の質問・意見】

Q. 夏に子どもを対象にラジオ体操をやったが、小学生はほとんどできない。今、小学校では教えていないのか。

A. 準備体操の中でやっているという認識である。

Q. 町全体の恒例行事としてやっているの、少なくとも高学年の子どもにはある程度できるようになってほしい。

Q. ごみステーションに様々な広告物を貼っているが、うちの自治会では今後貼らないようにしたいと思っている。二間川沿いのごみステーションで広告を貼ろうとしたら、後ろを車が頻繁に通って危ない。ごみ出しのときも危ないと感じるが、そういう場所で広告物を見てもらうのも危険なのではないか。地域の餅つき大会の案内を例年貼っていたが、今年はやめた。役場からも広告物の掲示依頼をしないでほしい。

Q. 本日の会議について、金曜日の夜19時という時間帯でやる必要があるのか。個人的な意見だが、木曜日の16時が良いと思う。自治会長も高齢の方が多く、夜遅くに帰るのも危険なので、検討してほしい。

Q. 10月6日にスポーツフェスタを開催したが、久しぶりということもあり、参加者が少ないように感じた。自治会の中でも参加していないところもあった。今後やっていくにあたって、これで良いのか。町全体で行うので、すべての自治会から参加していただきたいと考えている。

A. ご指摘のとおり参加していない自治会もあったと認識している。昨年度、この旧町民運動会について、皆さんに十分お諮りできなかったかもしれないが、アンケートをとった時に、自治会で選手を出しにくいという声もあった。その中で昨年度はどんな形にするかを検討し、今年度に入ってどんな競技をするかを決めて実施に至った。自治会の中には、中々参加できないところもあって、その場合は有志等で集まって参加できるようにし、自治会の順位付けには入らないが、各競技で順位付けを行った。今年度の結果については実行委員会で総括し、また来年度に向けて話し合うことになる。

Q. 通学路の関係だが、早島町は交通量が最近増えている。私も朝に挨拶や交通整理をやっているが、特にさつき荘の前が多く、児童も通学時によく通る。見守り隊がいるが、高齢化が進み、人数も少なくなっている。見守り隊の標準化を町全体として考えてほしい。また、2号線の信号を回避するために、さつき荘から城山公園、2号線の下を通る車が非常に多く、朝はスピードも速い。そのあたりは段をつけるなどの規制や注意喚起、また早島交番に依頼してパトロールしてもらえれば非常に助かる。地域の安心安全のために、朝の

見守りは町全体として考えてほしい。そして、自治会の会議でも議題に出してもらい、見守り隊の標準化、システム化などを検討し、輪番制で当番が回るような仕組みにしてもらえたら助かるので、地域と行政が一緒に考えてほしい。

A. さつき荘については、そこで塾をやっている方にお申し、朝の見守りをやっていたい。他のところでも交通量が増えているので、町政の喫緊の課題だと思っている。また、見守り隊の方々はボランティアなので、人の確保というところで中々難しいが、検討していきたい。

Q. 国鉾公園の駐車場に3か月くらい朝から晩まで8台ほど車が停まっていたが、総務課に相談して対応していただいた結果、最近はいなくなった。今後、「公園の利用者以外の駐車はご遠慮ください」というような看板を立てることも検討してほしい。

A. 担当課に伝えておく。

Q. 最近、103万円の壁の問題が話題になっているが、これについては賛否両論がある。財務省等では税収が大幅に減少することから反対の意見が多いようだが、早島町としてはどのように考えているか。

A. 国レベルの所得税でいくと何兆円規模となり、収支のバランスが崩れるという話は報道では聞いているところである。非課税枠が増えると当然税収に関わってくるが、一方で地方税の交付税措置などがどうなるのかは今後議論されていくものだと思う。現段階では税収が減るかどうか、手当があるかどうかは未知な部分がある。町としては今後の動向を注視しながら対応していくので、この段階での考えを一概に申し上げることができないことをご容赦いただきたい。

Q. 先ほど他の方からもご意見があったが、この会議の開催時間について、今後どのように検討するつもりか。

A. 次回の2月の自治会行政連絡会議については、アンケートのような形で皆さんにお伺いしようと考えている。当然自治会長の中にはお仕事をされている人も多くいらっしゃるので、できるだけ皆さんが集まりやすい時間帯、曜日を探していきたいので、申し訳ないがご協力をお願いしたい。

Q. 今回の会議はオンライン参加を導入しているが、会議に参加しているような感覚ではなく、傍聴しているようだった。今後、オンライン会議の方法、あり方についても検討してほしい。

4. 閉 会

以上

※Q. 自治会長 A. 町